

デザインの力で地域課題を解決！ 長岡造形大学 創立30周年・公立化10周年

平成6年に公設民営方式で開学した長岡造形大学は、今年で創立30周年、公立化10周年を迎えました。近年は新たなカリキュラムの導入や学科の再編成など、未来を見据えた人材育成を推進。使い手の隠れた本音から課題発見・解決を図る「デザイン思考」により社会の変化に柔軟に対応できる力を身に付け、多様化する社会で活躍する人材を育てています。

開学当時の「地元の大学に進学したい、学ばせたい」という受験生や保護者からの声に対し、地域優先枠を設けるとともに、現在、滋賀県を除く46都道府県からの学生が在籍。毎年約250人の未来を担う若者が入学し、長岡市をフィールドとして地域や企業などと積極的に関わり、デザインによる問題解決や社会への還元について学び、経験しています。

また、地元産業界からの「デザイン力と商品開発力を強化したい」という声に対し、企業とのさまざまな共同研究や授業連携（次頁参照）を行っています。卒業生は県内企業に数多く就職（卒業生数5,870人のうち1,419人[24.2%]が県内就職）するほか、さまざまな分野で活躍しており、地元産業や地域を支えるための人材育成の場となっています。

長岡造形大学が、市民に支持される大学・魅力ある大学として成長していけるよう、長岡市はこれからも学生支援や情報発信などに取り組んでまいります。



[デザイン学科]

多様化する社会で高い専門力をもとに柔軟に対応できるデザイナーを育成。



[美術・工芸学科]

専門性を軸とし、これからの社会に必要な共感性をもち、能動的に考え、革新性をもったクリエイターを育成。



[建築・環境デザイン学科]

人・社会と自然・環境の両視点からデザインを捉え、確かな技術力と次の時代が求める豊かでしなやかなハートをもったデザイナーを育成。

<長岡造形大学の志願倍率、就職率の推移>

公立化以降、
約5倍を維持！



就職率は90%超を維持！



1 産学連携・地域との連携事業

【産学連携】

教員および学生の研究力や人的資源を生かし、企業等と連携した共同研究や授業連携を行っています。



マッチングハブ長岡



高専×造形大 合同授業



長岡花火 CO2 Lamp



水耕栽培商品パッケージデザイン



長岡花火館モニュメントデザイン



市営共同墓デザイン

【地域連携】

地域の課題解決や活性化、魅力の発掘など、地域の方と一緒に活動しています。



越後みしま竹あかり街道



ヨイタンサケイカク



駄菓子屋ハブ（寺泊）

【生涯学習・教育】

市民の生涯学習・教育の機会を豊かにする取組みや、企業向けのデザイン講座を行っています。



市民工房



こどもものづくり大学校



企業向けデザイン講座

2 地域おこし協力隊（半学半域型）

学生の研究や知識をまちの活性化に生かすと同時に、学生による起業や卒業後の市内定住につながることを目的に、大学や大学院の学生を協力隊として任用しています。

大学に通いながら、週3日を協力隊として活動しています。

任用期間	活動内容	前住所	年齢	活動終了後の動き
R2. 4. 1～ R4. 3. 31	障がい児者の社会参画の機会創出	東京都	20代	市内起業
R2. 4. 1～ R4. 3. 31	日本酒を通じて若者をつなぐ	神奈川県	20代	他県就職
R3. 4. 1～ R5. 3. 31	子どもたちの地域への愛着を育む	東京都	20代	他県就職
R3. 4. 1～ R4. 5. 31	地場材の利用促進と地域ブランド力向上	愛知県	20代	※海外留学により途中退職
R4. 4. 1～ R6. 3. 31	地域資源を題材にしたおもちゃの制作・魅力発信	新潟市	20代	市内就職
R4. 4. 1～ R6. 3. 31	世代を超えた地域コミュニティづくり	埼玉県	20代	産業イノベーション部門の地域おこし協力隊として市内で活動中。
R5. 4. 1～ 活動中	若者を対象とした社会的孤立支援対策	東京都	20代	—
R6. 4. 1～ 活動中	若者の多様な生き方への受容を図るきっかけづくり	宮城県	20代	—

3 第3期中期目標（令和8～13年度）の策定

現在、第3期中期目標（公立大学法人が達成すべき、①教育 ②研究 ③地域貢献 ④業務運営等の4項目に関する目標）の策定を進めています。策定にあたり、以下の日程で市長と大学の理事長、学長によるトップ会談を予定しています。

◆日時：令和6年11月22日（金）午後1時から（冒頭のみ公開）

※詳細は後日リリースします。

4 創立30周年イベント

11月1日（金）から、長岡造形大学にてさまざまな創立30周年イベントを実施します。今年9月に完成した、先端的なデジタル機器を備える新たなモノづくりの拠点となる新校舎「第4アトリエ棟」の完成見学会も開催します。

1. 長岡造形大学創立30周年セレモニー

日時：11月1日（金）午後1時～2時

2. 新校舎完成見学

日時：11月1日（金）午後2時～8時、2日（土）午前10時～午後8時

3. IMMERSIVE CUBE LIVE

日時：11月1日（金）午後6時～8時

4. IMMERSIVE CUBE THEATER

日時：11月2日（土）午前10時～午後8時

5. 隈研吾 講演会&トークセッション（※一般申し込みは終了）

日時：11月3日（日）午後2時～4時



創立30周年記念ロゴ

※取材される際は、事前に長岡造形大学 入試広報課（Tel：0258-21-3331）へご連絡ください。

※詳細は、添付チラシまたは長岡造形大学のイベント特設サイトをご覧ください。

<<https://www.nagaoka-id.ac.jp/thirtieth-anniv/>>



5 創立・公立化の経緯

(1) 創立（平成6年）

「子どもを地元で学ばせたい」という保護者の願いと、「デザイン力と商品開発力を強化したい」という産業界からの要請を受け、長岡市が土地と建物を整備し、学校法人が運営を行う「公設民営」方式で平成6年4月に開学しました。

※ 当時は、政令指定都市以外に市立大学の新設が認められていませんでした。

(2) 公立化（平成26年）

少子化時代の厳しい大学間競争を勝ち抜くとともに、大学における教育研究や地域貢献活動のさらなる向上を図るため、有識者による長岡造形大学公立大学法人化検討委員会による議論を経て、平成26年4月に公立大学法人へ移行しました。

※ 平成16年から、公設民営の大学は特別に公立化が認められるようになりました。

〔 問い合わせ 政策企画課 五十嵐 39-2204 〕